

第18回 定例ワールドカフェ (4/15) 感想 (2023.5.19 現在)

話題提供：通信制高校に通う生徒の現状と生徒の生の声

提供者：山田理奈さん、松崎竜也さん (第一学院高校 大阪キャンパス)

当日参加者：7名

感想 (Google Form) 回答者：5名 (分野_教育3名、福祉・地域NPO団体1名、医療1名)

- ・私もいろんな可能性を大事にしてあげたい！第一学院高等学校さんのされている、繋がる、みつける、支えるなど私がしたいこと満載でした。もっともっとがんばり続けます。
- ・素敵な取り組みを聞かせていただき、ありがとうございました。子どもたちが元気になっていく事に携わっていると、こちらが元気になれますよね。今日のお話を聞いていて、今読んでいる「教室マルトリートメント」の事を思い出しました。大人の関わりが子どもたちに大きく影響することを、もう一度心に置いて、仕事したいと思いました。後は、世の中にある「通信制高校」に対する思い込みなんかをへらしたいですね。子どもの未来を考えてくれる先生方がたくさんいることを知ってもらいたいです。今後ともよろしくお願い致します。
- ・本当に、教育に色々な仕掛が入っていると思いました。大学でも、上回生が低回生に教えるシステムがありますが、もっと広がるといいなあと思います。やる気スイッチを見つけるのはとても大変ですよ。今日のお話を参考にさせていただき、いろんなアプローチをしたいと思います。ありがとうございました。
- ・今の子どもたちに私たちは何ができるのか、について真剣に考え、取り組まれている方々の声を聞くことができました。より一層、私たちの立場で頑張っていきたいと感じました。このような発表の機会を頂き、誠にありがとうございました。
- ・家族以外の大人が、教育という場で、子どもに何を伝えるか、どのように支えるか原点を見た気がしました。就業年数やアプローチ方法、学習指導要領など、縛りがある中で教師も最大限努力されています。効果的に最大人数の子どもに支援するために長年培ってきた最適解だったのかもしれませんが。否定はしません。でもどんな大人になってこの社会を支えていてもらいたいかめざすところであれば、今の教育現場は本末転倒、管理のしやすさを優先させている人も多いように思います。今日、山田先生や松崎先生が少しずつ、丁寧に1人1人の子どもに向き合って創意工夫をして支援していることは尊いと改めて思いました。仲間を増やしていけたらと思いました。ありがとうございました。